



沖縄県商工会青年部連合会  
会長 上原 直彦

平成二十一年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、青年部連合会事業に多大な御指導を賜り、誠に有難うございました。

いま、日本経済はかつてない難題に直



沖縄県商工会女性部連合会  
会長 玉城 光子

平成二十一年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、商工会女性部連合会の諸事業を遂行するにあたりまして、多数の関係機関をはじめ、各市町村商工会女性部部长並びに部員各位に格別なるご支

面しております。それは、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の動揺等により、経済の先行きも不透明感を増しており、とりわけ商工会地域においては需要の低迷、資金繰り難等、厳しい経営環境が続いております。また、市町村合併、三位一体の改革等により、経済だけではなく地域社会も大きな転換点を迎えております。

このような状況の中でも、商工会青年部は、日々の活動を通じて、自らが所属する地域の経済を必死に支えると同時に、今も昔も変わらない、組織としての人間（ヒト）作りや、青年部ネットワークの重要性、きずなの太いつなかりを礎に取

組んでいるところであります。

今、我々企業経営者の原点である「商売」を発展させ、今後の商工会のリーダーとして、また地域の活性化及び経済の担い手として、商工会青年部員のネットワークをより強固にし、我々商工会青年部が、直面する難局に対し、何ができるのかをひとつひとつ打開すべく、今一度、真剣に模索し、行動に移す時であるように思われます。

我々商工会青年部は、今年も組織一丸となり、かつ自覚と責任をもって、地域振興事業の推進と稼業の発展に向けた青年部活動に励んでまいりたいと思います。年頭に当たり、新しいこの一年が実り多

援を賜り深く感謝申し上げます。

さて、わが国経済及び県経済は、昨年度から続いております、原油高値による原材料の高騰をはじめ、米国に端を発した金融危機など未曾有の経済不安に陥っております。

こうした中、私たち商工会女性部は、商工業に携わる女性として知識の習得と教養を深め、女性らしい感性と特性を活かした事業を通しながら、更なる資質の向上に努め、地域に貢献すべく、日々精進しなければなりません。

その為には、組織運営強化が必要不可欠であり、部員加入増強の推進、提案公募型事業や広域連携事業等の諸事業を

積極的に取り組み、より一層の地域活性化に貢献することで、この経済危機を打破するものと考えています。また本年度は、歴代県女連会長や先輩、部員各位が築いてこられました、県女連の「歩み」を記した三十周年記念誌を発刊することもできました。

この記念誌は女性部の輝かしい活動の実績、歴史を再確認し新たな活力を培う貴重な資料であり、今後の励みとなるものであります。ここに発刊に際し、ご尽力を賜りました皆様に、厚く御礼申し上げます。

新しい年を迎え、二十八商工会女性部員一人々が力を合わせ、地域経済振興の一

い年となりますよう、商工会、女性部並びに青年部の益々の発展と、皆様方のご多幸、ご繁栄を心より祈念申し上げます。年頭のごあいさつと致します。

平成二十一年二月二日



助として、豊かな街づくりの担い手として、更なる飛躍を祈念申し上げます、女性部にとって幸多き年になりますよう、年頭のごあいさつといたします。

